



WEEKLY REPORT

2015
↓
2016



No.898

H28 3/30 水

◎国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ◎会長／小口憲太郎 ◎幹事／蔭山寿一

第36回例会

開会点鐘

ロータリー歌「我らの生業」斉唱

四つのテスト唱和

ゲスト紹介

蔭山寿一幹事

大野勝久様(郡山RC)

会長挨拶

小口憲太郎会長



信賞必罰という言葉があります。良いことをした時は褒め、悪いことをした時は必ず罰することと昔から言われております

が、いつも褒めたり怒ったりすると慣れてしまうそうです。また気まぐれにするのも良くないようで、いつ褒められるか、いつ怒られるか分からないとストレスを感じるそうです。

●大野勝久 郡山RC会長



5月14日(土)の創立80周年記念式典のご案内にまいりました。郡山RCは東京RCをスポンサークラブに昭和11年に東北で初めて創立いたしました。この年には2.26事件、ベルリンオリンピックがあり、大坂RCで最初にニコニ

コBOXが設営されました。太平洋戦争により解散することとなりましたが、郡山RCは「金曜クラブ」と名称を変えて定期的に集まっており、昭和24年10月30日に再発会をいたしました。今回の記念式典には30年ぶりに東京RCパスト会長と現幹事が臨席されます。記念講演はキックマン名誉会長の茂木友三郎さんです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

出席報告

渡部宏夫委員長

総員	34名
出席	24名
欠席	10名
出席率	70.59%
前回修正率	61.76%

スマイルBOX報告

津野順子委員長

大野勝久様 5月14日に開催いたします。郡山RC創立80周年記念式典よろしくお願いたします。

小口憲太郎 大野郡山RC会長ようこそ!

蔭山寿一 大野会長、アーバンへようこそ。

小林悦子 入会3ヶ月になりました。ありがとうございます。

渡部宏夫 コラーゲン2,000mg入りのノンアルコールビールを出しました。この1缶でさんま6匹分のコラーゲンが取れます。

橋本弘幸／宮崎登志行／瀧田幸子
佐藤功一／大山三起雄／高橋功
津野順子／武藤起代子



●渡部宏夫さん

コラーゲン入りのノンアルコールビールをお試ください。



●大山三起雄 環境保全委員長

エコキャップ回収を5月に行いますのでご協力よろしくをお願いします。

幹事報告

蔭山寿一幹事

①5月8日の郡山南RC創立45周年記念親善ゴルフコンペのご案内がきております。

②ガバナーから5月7日にユラックス熱海で開催される講演会の参加のお願いがきております。

③米山梅吉記念館より賛助会員募集のご案内がきております。

④例会終了後、緊急理事役員会を開催します。

プログラム／会員卓話

会員卓話

「『ジカ熱』感染について」

佐藤功一さん



ジカ熱が中南米を中心に流行しています。ジカ熱とはジカウィルス感染症の

ことです。日本でもブラジルから帰国した2人の感染が確認されています。赤ちゃんが小頭症で生まれる原因といわれますので、産婦人科医としては妊婦が心配です。また手や足がマヒしたり筋力が低下するギラン・バレー症候群にも関連が疑われています。もうひとつ大きな問題は、8月にブラジルのリオでオリンピックが開催されることです。

ジカ熱の症状は東京の公園で発生したデング熱と似ており、媒介するのは蚊であることも共通していますが、神経学的には違う病気です。関連が疑われるのは胎児の小頭症とギラン・バレー症候群です。感染してから症状が出るまでの潜伏期間は2～13日で、多くは2～7日ほどです。ワクチンや特効薬はまだありませんので、症状を和らげる対症療法になります。資料にある写真はネットイシマカです。ジカ熱は結構古くからありました。1947年にアフリカのウガンダのジカ森林のアカゲザルから見つかり、1952年にはウガンダとタンザニアで初めて人の感染が確認されました。2007年にミクロネシアのヤップ島で流行し、この遺伝子は現在ブラジルで流行しているジカ熱の遺伝子と同じだったそうです。2015年にブラジルでの地域的な流行が確認され、ギラン・バレー症候群と小頭症に関連している可能性が報告され、2016年に世界保健機構(WHO)から緊急事態宣言が出されました。日本でも2月にブラジルから帰国した川崎市の高校生、3月に愛知県の女性の感染が確認されました。日本だけでなく世界中で8月のリオオリンピック開催に向けて、ジカ熱の感染が非常に心配されています。

「ジカウイルス感染症に関するQ&A」が厚労省から出されています。ジカウイ

ルス感染症は、ジカウイルス病と先天性ジカウイルス感染症のことをいいます。ジカウイルス病は後天的にジカウイルスに感染することによるもので、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛など、風邪に似た症状です。先天性ジカウイルス感染症は母体から胎児に垂直感染するものをいい、小頭症などの先天性障害を起こす可能性がありますとされています。

蚊がヒトを吸血することで感染し、まれには献血や性行為による感染が指摘されています。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がなかったり軽いために気付かないこともあります。妊娠中の女性が感染すると胎児に感染する可能性があると言われていますが、まだ説明されていません。風疹の場合は妊娠初期に抗体のない妊婦さんが風疹に罹患すると、血液を通して胎盤から胎児にうつり、先天性風疹児症候群の赤ちゃんが生まれます。以前に沖縄で500人ほどの赤ちゃんに、心臓に穴が開いたり、耳が聞こえない、目が見えない、知能・発育障害が出ました。

現在流行している地域はアフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で、特に近年は中南米およびその周辺地域です。日本国内で感染した症例はありませんが、海外の流行地で感染して発症した症例が、2013年から3例見つかっています。感染を媒介する蚊はヤブカ属のネットイシマカやヒトスジシマカです。ネットイシマカは日本には常在していますが、ヒトスジシマカは秋田・岩手以南のほとんどの地域で見られます。治療薬はなく、対症療法しかありませんが、感染しても症状が軽く、2～7日で治り、予後は良好です。

流行地域へ渡航する場合には、長袖、

長ズボンを着用し、虫除けスプレーを3時間ごとに使うなど、予防のために蚊に刺されないように注意することが必要です。流行地域から帰国した男性のパートナーで妊娠しているか妊娠が予想される方は、半年ほどは注意することが推奨されています。流行地域で蚊に刺されたことだけで心配する必要はありませんが、心配な方は空港の検疫所や最寄りの保健所に相談し、発熱などの症状がある場合は医療機関を受診してください。仮にウイルスに感染した発症期の方が国内で蚊に刺され、その蚊が他のヒトを吸血した場合には感染する可能性はあります。ただし蚊は冬を越えて生息できません。ブラジルでは蚊の生息している場所の消毒に力を入れています。ヒトスジシマカは日中の野外での活動性が高く、活動範囲は50～100メートル程度、活動時期は5月中旬から10月下旬頃までです。心配なのは妊婦さんや妊娠する可能性のある人であり、蚊が発生しないようにする対策が必要です。

◎ロータリー財団寄付者

小口憲太郎 / 高橋功 / 宮崎登志行
大山三起雄 / 橋本弘幸 / 味戸誠一郎

◎米山記念奨学会寄付者

津野順子 / 小口憲太郎 / 白岩邦俊
橋本弘幸 / 宮崎登志行 / 蔭山寿一
高橋功 / 味戸誠一郎 / 滝田幸子

◎ポリオ寄付者

小口憲太郎 / 蔭山寿一 / 橋本弘幸
宮崎登志行



閉会点鐘

中村法律事務所

中村 良一
郡山市細沼町5-2
TEL.024-991-8010

 株式会社 **エヌジェイアイ**

橋本 弘幸
郡山市富久山町八山田字前林10-4
TEL.024-933-8924